

## 5-1-3. 車両に直接割付けできる各費用 (運行費)

### ○タイヤチューブ費

#### 原価計算のポイント

#### ○1km当たりのタイヤチューブ費を求める計算方法

- 通常の経理ではタイヤチューブを交換した月にその費用を全額計上します。しかし、これでは交換した月のコストが大きく、交換しない月のコストが小さくなってしまいます。
- そこでタイヤチューブ費は交換までの走行距離のうち、計算対象期間の走行距離分を費用として計上します。(交換した月のみに費用を発生させることは不適切)

<基本式>

$$\begin{aligned} & (\text{タイヤチューブ費} + \text{交換工賃等一式}) \div \text{交換走行距離} \\ & = \text{1kmあたりタイヤチューブ費} \end{aligned}$$

#### ○タイヤローテーションの工賃、タイヤ交換等の工賃

- タイヤチューブの交換費用を含めて費用を計算します。例えばタイヤチューブ長寿命化のためローテーションを外部委託する場合はその委託費用を含みます。

#### ○夏タイヤと冬タイヤの両方を利用する場合の処理

- 夏タイヤと冬タイヤを利用する場合、双方の単価の違いを考慮するため、加重平均を算出する場合があります。

#### ○走行状態によるタイヤ磨耗の考慮

- 一般道を走行する場合のタイヤの磨耗の程度と、高速道路を走行する場合のタイヤの磨耗の程度は異なりますが、原価計算には反映しません。